

サウナ小屋のご利用にあたっての注意事項

●注意●

ビックボックスが輸入販売するサウナ小屋は北欧式低温サウナの為、室温が常時 100℃を超えるような使用方は避け、60～80℃程度を目安にご使用ください。また、高温での使用による火災、火傷、一酸化炭素中毒、物的損害その他の事故については、弊社（販売元・製造元を含む）は責任を負いかねます。

安全のため、必ず取扱説明書・施工要領および関連法令等に従い、適切に設置・ご使用ください。

【1】火災防止のための重要事項

- 1) ストープ周辺（本体・煙突・排気経路を含む）には、薪、タオル、衣類、紙等の可燃物を置かないでください。
- 2) 使用中はその場を離れないでください。外出・就寝時など、人の目が届かない状況での使用は行わないでください。
- 3) ストープメーカーが定める離隔距離、遮熱、不燃下地、炉台等の仕様を厳守し、その上で消防等の指導に従ってください。
- 4) 焦げ臭いにおい、発煙、異常な過熱、異音等の異常がある場合は、直ちに使用を中止してください。
- 5) 煙突、排気経路、電気系統等は、使用状況に応じて定期的な点検および清補を実施してください。

【2】設置・施工に関する注意（火災防止）

- 1) 設置にあたっては、地域の火災予防条例、消防の指導等に適合していることをご確認ください。
- 2) 電気工事、煙突工事等は、必要に応じて有資格者または専門業者により実施してください。
- 3) 換気が不十分な場合、不完全燃焼や一酸化炭素中毒の危険があります。施工要領に基づき、給気口・換気口を設置し適切な換気を確保してください。
- 4) 製品の改造、指定外部材の使用、自己判断による施工変更は、安全性を損なうおそれがあるためお控えください。
- 5) サウナ小屋・煙突・サウナストープ設置の際は、必ずマニュアルに従い施工ください。

【3】薪ストープをご使用の場合（火災に関する注意）

- 1) 薪式ストープ本体下部に底板またはスカモールボード（不燃ボード）等を設置することを厳守してください。（床板の焦げ付き、炭化による低温火災のリスクを排除するため）。
- 2) 燃料は乾燥した薪をご使用ください。ガソリン、灯油、溶剤等の使用、ならびに着火剤の不適切な使用は大変危険ですので行わないでください。
- 3) 火の粉の飛散により周辺へ着火するおそれがあります。周辺状況（可燃物、風の強さ等）を確認し、必要な対策を講じてください。
- 4) 煙突内に付着した煤が着火する「煙突火災」のおそれがあります。使用頻度に応じて煙突・排気経路の清掃を定期的に行ってください。
- 5) サウナストープをサウナ以外の使用目的（乾燥機、グリル等）で使用しないでください。
- 6) 火傷の恐れがあるため、運転中のサウナストープ、サウナストーン、蒸気には触れないでください。
- 7) フィンランド式サウナは室温 60～80℃程度で楽しむものです。サウナ内の室温が 100℃を超えるのは「異常な過熱状態」です。薪の供給を止め、サウナ室のドアを開けるなどし、室温を下げてください。
- 8) 適切な薪の投入量（2～3 本）を守り、異常な過熱状態を避け安全に使用してください。
- 9) 灰は完全に消火したことを確認のうえ、金属容器等に保管し、可燃物の近くに置かないでください。未消火の灰は出火原因となります。

【4】電気ストープをご使用の場合（火災に関する注意）

- 1) 電気工事は**有資格者（電気工事士）**により行い、機器仕様に適合した配線、ブレーカー容量、アース、漏電遮断器等を設けてください。
- 2) 焦げ臭いにおい、発煙、異音等の異常がある場合は、直ちに停止し、点検をご依頼ください。
- 3) 温度センサーをつける場合は説明書に記載の位置に適切に設置ください。

誓約書

私は、上記の注意事項および取扱説明書・施工要領書の内容を理解し、法令・指導を厳守し安全にサウナ小屋を使用します。上記を遵守せずに使用した場合に伴う火災、火傷、一酸化炭素中毒、物的損害その他の事故については、販売元・製造元に故意または重大な過失がある場合を除き、販売元・製造元が責任を負いかねることを了承し、自己の責任において使用することを誓約します。

氏名（署名）：



日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日

株式会社ビックボックス

〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町 2357 TEL:0120-117-698